

## 論文審査の要旨

報告番号	甲 第 2555 号	氏 名	渡部 洋実
論文審査担当者	主査 後閑 武彦 副査 河村 満 副査 大塚 成人		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本研究は、MRI を用いて自閉症スペクトラム障害 (ASD) の前頭眼窩回の脳溝パターンの分布を健常群と比較し、臨床的特徴との関連を解析した。前頭眼窩回にみられる H 型の脳溝は、分枝の連続性により I~III 型に三分類されている。ASD と診断された成人男性 51 名 (IQ80 以上) を対象とし、年齢、IQ をマッチさせた健常男性 55 名を健常群とした。MRI による撮像を行い、知能指数や自閉症特性、利き手、教育年数などの臨床指標と、脳溝パターンとの関連を解析した。</p> <p>ASD 群では、健常群と比較し H 型脳溝では両半球で III 型の比率が有意に増加し、I 型の比率が右で減少していた。H 型脳溝の特定のタイプが自閉症特性と相関を示すことが示された。脳溝パターンは神経発達過程を反映した脳構造のトレートマーカであり、ASD で両側に脳溝パターンの偏移がみられることは、神経発達異常が胎生早期に起こっていることを示唆するものと思われる。本研究は、脳溝パターンが異種性を多く含む ASD の新たな生物学的分類指標となりうる可能性を示した。</p> <p>以上の点で本論文は新しい知見を得ており、学術上価値あるものと考えられる。</p> <p>論文題名 : Altered orbitofrontal sulcogyral patterns in adult males          with high-functioning autism spectrum disorders          (高機能自閉症スペクトラム障害の成人男性における前頭眼窩面の脳溝パターンの異常)</p> <p>掲載雑誌名 : Social Cognitive and Affective Neuroscience (2013 年掲載予定)</p>			